

第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と近代的な諸課題

面接指導テーマ 移民の歴史から外国人との共生について考える

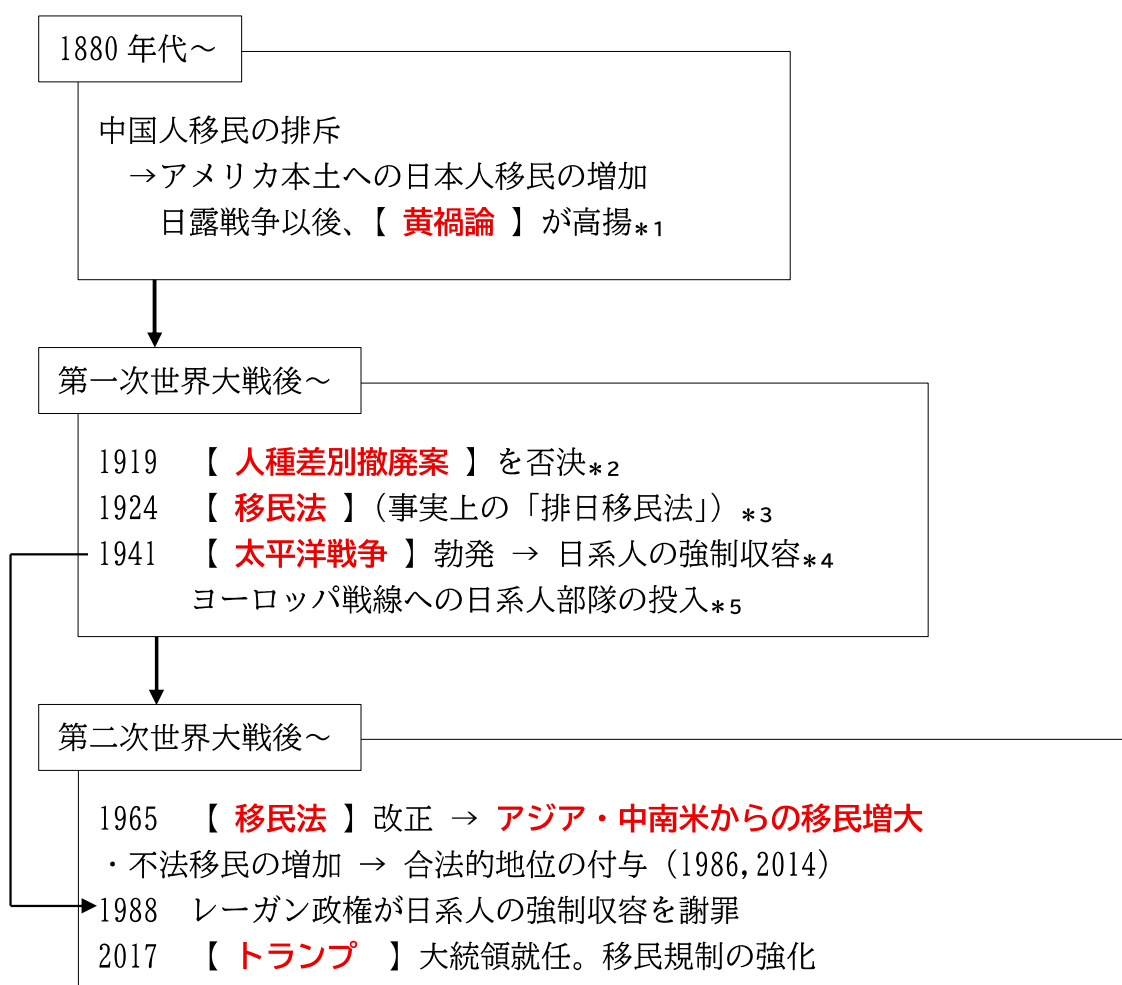
※ 赤字は生徒の解答例

MQ：私たちは外国から来た人たちとどのように共生していくべきだろうか？

【学習前】私たちは外国から来た人たちとどのように共生していくべきだろうか？

外国から来た人たちが安心してくらすようにすることが大切だと思います。言葉がわからず困っているときは教えてあげたり、学校や町のルールをいっしょに学んだりする

○アメリカにおける移民政策



○太平洋戦争と日系移民 *4 *5

Q1：戦争中、アメリカの日系人はどのような状況におかれたのだろうか？

「敵性外国人」として財産の没収と収容所への移住を命じられ、過酷な環境での生活を強いられた。一方で、志願兵として戦地に赴いた者もいた。

○グローバル化のなかの日本 *8

Q2：日本への外国人入国者数が急増したのはいつ頃か？

Q3：在留者数が増加しているはこの国だろうか？

Q2 2010年頃～	Q3 中国 ベトナム
---------------	---------------

Q4：次の用語の意味・定義を調べよう

- ・移民 通常の居住地以外の国に移動し、少なくとも12ヶ月間当該国に居住する人（国連）
- ・難民 人種、宗教、国籍、政治的意見または特定の社会集団に属するという理由で、自国にいと迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れ、国際的保護を必要とする人々（UNHCR）
- ・外国人労働者 日本国籍を持たず、日本国内で働く外国人（厚生労働省）

Q5：今日の日本における外国人労働者を取り巻く状況には、どのような課題があるだろうか？

専門的・技術的な資格のない外国人労働者が、低賃金で、過酷で不安定な条件のもとで働いている。

【資料1】日本社会のなかの外国人労働者

【グラフ】

日本社会のなかの外国人労働者

『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』p.240

（山川出版社，2025年）

【学習後】私たちは外国から来た人たちとどのように共生していくべきだろうか？

外国から来た人たちを単に受け入れるだけでなく、お互いの文化や価値観を理解し合いながら共生していくことが大切だと思う。しかし、言語の違いや仕事、生活習慣の違いによって対立が起こることもある。そのため、ルールを守りながら互いを尊重し、地域や学校で交流する機会を増やすことが、現実的な共生につながると考える。

<p style="text-align: center;">* 1 【資料】 黄禍の凶 『新詳歴史総合』 p. 98 (浜島書店, 2025 年)</p>	<p style="text-align: center;">* 2 【資料】 幻の「人種差別撤廃案」 『新詳歴史総合』 p. 120 (浜島書店, 2025 年)</p>
<p style="text-align: center;">* 3 【資料】 移民法への抗議 『新詳歴史総合』 p. 131 (浜島書店, 2025 年)</p>	<p style="text-align: center;">* 4 【資料】 日系人の強制収容 『新詳歴史総合』 p. 131 (浜島書店, 2025 年)</p>
<p style="text-align: center;">* 5 【資料】 ヨーロッパ戦線に派遣された日系人部隊（第4 4 2連隊）と2010年に贈られた勲章 『新詳歴史総合』 p. 131 (浜島書店, 2025 年)</p>	<p style="text-align: center;">* 6 【資料】 移民とアメリカ社会 『新詳歴史総合』 p. 63 (浜島書店, 2025 年)</p>
<p style="text-align: center;">* 7 【資料】 アメリカへの移民 『新詳歴史総合』 p. 106 (浜島書店, 2025 年)</p>	<p style="text-align: center;">* 8 【グラフ】 アメリカへの移民受け入れ数 日本の外国人入国者数と在留者数 『新詳歴史総合』 p. 200 (浜島書店, 2025 年)</p>

※ 赤字は生徒の解答例

添削課題の振り返り

Q 1 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題について、次の観点から 1 つ選び、その具体的な事例をあげて、考えたことをまとめよ。

選んだ観点の番号[1]

1 対立・協調 2 統合・分化 3 平等・格差

移民の増加により、文化や価値観の違いから対立が生まれることがある。一方で、多文化共生社会を目指す取り組みや教育を通して、互いに理解し合い協調する動きも見られる。多文化共生社会には、対立を乗り越えた協調が重要である。

Q 2 学習を振り返って学んだこと・考えたことを述べよ。

移民は労働力として重要であるが、文化の違いによる課題もあると考えた。多文化共生社会のためには、お互いを理解することが大切だと思う。自分も外国人と関わる時に意識したい。今後は外国人労働者に関する課題についてさらに調べていきたい。